

＜中学生のための＞

□□□ もっとよく理解できるようになる □□□

英語講座

中学英語は何が変わったのか？

今年4月から中学校の英語の教科書は新しくなりました。そこで具体的に何が変わったのかを簡単に説明します。

●英単語の量が増えた

以前の教科書に比べて3年分で約400語増えている。しかし、実際は小学校で習った英単語を加えると約1000語増えている。

●難しい英単語が増えた

小学校では日常的な単語が多かったのですが、中学校では抽象的な語が多くなっている。英文は幅広い内容を取り上げている。

●英文法の量が増えた

高校から下りてきた英文法が増えたのと、小学校で習った分が復習の形で入っているので、一単元で習う英文法の量が増えた。

●難しい英文法が増えた

高校から下りてきた現在完了進行形、原形不定詞、仮定法など、多くの中学生が混乱しそうな文法事項が増えている。

これから中学英語はどうなるのか？

中学校の英語がどうなるのかと心配されている親御さんも多くいると思います。今後予想されることを簡単に説明します。

●中学校ですらに学力差が大きくなる

中1は、すでに小学校の英語で差がついているところに、中学校の英語の授業に適応できないと、あっという間に英語の学力差は大きくなる。

中2・中3は、昨年までの教科書と比べて質や量で上回る新しい教科書についていけないと次第に学力差は大きくなる。

●高校入試の英語は難化傾向である

岩手県の公立高校入試の英語の平均点は変化が小さいが、実態は英語が得意な生徒と苦手な生徒の2極化が進んでいる。新しい教科書の内容が来年すぐに反映されることはないが、高校入試の英語が易化する見込みもほとんどない。だから、少なくとも英語が苦手にならないように勉強してほしい。

それでは、ここで
具体的な勉強の仕方を
紹介します

教科書やワーク の英文を覚える

テストで高得点を取るには、教科書やワークの英文がすべて読める、話せる、意味が分かる、書けるようになること。

英語の語順や表現 の特徴をつかむ

英文をただ覚えるだけでは身につかない。主語や動詞などの英語の構造や進行形、受け身など英語の表現を理解すること。

小学校で習った 英単語を覚える

新しい教科書では、小学校の英単語は既習扱いなので、最低でも重要単語(書けなければいけない単語)を覚えるとよい。

▶英語講座 実施要項◀

対象：中1・中2・中3 実施期間：6/5(土)～6/30(水)

120分×4回 11,000円 / 120分×8回 18,700円

* 期間内で都合の良い日時を選べます(金曜日は休み)。

* 教科書、ワーク、塾のテキストで指導します。

* 個別対応で演習中心の指導をしています。

* 上記の料金以外の費用はかかりません。

6月は個別相談会を実施します

ビッグルーフ滝沢にて▶日曜10～12時

滝沢進学塾にて▶火・水曜10～12時、15～18時

* 面談時間は60分(最大120分まで) * 対象は小4～高3。

* 英語の相談だけでなく学習相談・進路相談にも応じます。

* 予約が必要となります。

今すぐお電話か公式LINEからお申し込みください！ 詳細はホームページ・LINE・Facebookからご覧ください。

電話 019-677-8423 受付時間(毎日10:00～22:00)

* 表示金額はすべて税込です。

本気でトップレベルを目指す！
個人別演習指導

県立上位高校受験専門

滝沢進学塾

滝沢進学塾 塾長

歳弘 明(としひろ あきら) 51歳
盛岡一高・北海道大学農学部卒



指導歴17年。「成績を上げること」「志望校に合格させること」にトコトンこだわり指導している。塾長一人の小さな塾だからこそ、生徒一人ひとりと真剣に向き合うことができる。成績を上げることで、生徒たちに大きな自信を与えることができる。「現状の成績に甘んじることなく、さらなる高みを目指して、トコトン努力せよ!!」

中間テストの正しい見直しの仕方

テストの見直しというと、間違っただけの問題だけに注目しがちですが、正解した問題もしっかり見直すことが大切だというお話です。

まず、間違っただけの問題を見直す時は、次の3つに分類しましょう。

- ①単純ミスで間違っただけの問題
- ②分からなかった問題
- ③時間が足りなくて解けなかった問題

次に、正解した問題を見直す時は、次の3つに分類しましょう。

- ①確信をもって正解できた問題
- ②あいまいだったが勘で正解した問題
- ③ワーク等で覚えた答えを書いて正解した問題

上記の①確信をもって正解できた問題だけの得点は何点でしたか？
この点数が本来のテストの得点になります。

それで、実際の答案の点数と本来のテストの得点の差が小さければ、きちんと学力が身につけている状態です。

逆に、差が大きい人はテスト直前の勉強でなんとか点数は確保したが、学力が身に付いているとは言い難い状態です。

さらに、テスト勉強の内容も見直していきましょう。

テスト範囲表には「学習のポイント」の欄があり、どこから出題されるかについて細かく書かれています。

そこで、テスト範囲表に書かれている内容を2回繰り返した量を100%として、テストまでに勉強した割合を算出してみると、実際の点数とほぼ同じくらいになっていると思います。

テスト範囲表に書かれていることは一つも漏らさず、できるようにするという高い意識をもって勉強することが大事なのです。

そして、上位生はさらに学校で指示されたものだけでなく、自宅や塾で少しレベルの高い問題集や教材に取り組んでください。
点数を取ることを目標とせず、着実に実力を身につける勉強を心がけてほしい。

才能は磨かれることで光り輝くもの。より高い目標に向けて日々勉強に励もう！

